

1. 科目名 (単位数)	コミュニケーション技術 I (2 単位)	3. 科目番号	SNMP1112
2. 授業担当教員	荻野 基行		
4. 授業形態	講義 演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「コミュニケーション論」の単位を修得していること		
7. 講義概要	人間関係形成のためのコミュニケーション技術について、講義で基本的な技法を理解し、さらに演習を通して、実践できるように授業を進めていく。また利用者との援助的関係のみならず、他職種との連携や協働の場面、記録についても具体的に理解し、実践できるように授業を進めていく。演習による実践的なコミュニケーションでは、プロセスレコードを使用し、コミュニケーションを振り返ることで学びを深めていく。		
8. 学習目標	<p>学生には下記の実践目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者・家族の思いを引き出すコミュニケーションを実践できる。</li> <li>2. コミュニケーションの基本的な技法を活用できる。</li> <li>3. 利用者のこころにゆとりが生まれるコミュニケーションのための知識を身につける。</li> <li>4. 利用者のコミュニケーションの障害に応じたコミュニケーションの方法を選択できる。</li> <li>5. 他職種との連携・協働の場面におけるコミュニケーションを理解する。</li> <li>6. 他職種との連携・協働の場面におけるコミュニケーションを実践できる。</li> <li>7. プロセスレコードを記入し、自己のコミュニケーションの振り返りができる。</li> <li>8. 情報を共有するための記録の書き方、管理について理解する。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>レポート課題(1ページ40行×30文字で3枚以上)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護場面におけるコミュニケーションの基本と技術について</li> <li>2. 対象者の特性に応じたコミュニケーションについて</li> <li>3. 介護におけるチームのコミュニケーションについて</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 介護福祉士養成講座編集委員会『最新 コミュニケーション技術』中央法規出版。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーションの基本的な技法を活用できるか。</li> <li>2. 利用者のこころにゆとりが生まれるコミュニケーションのための知識を身につけられたか。</li> <li>3. 利用者のコミュニケーションの障害に応じたコミュニケーションの方法を選択できるか。</li> <li>4. 他職種との連携・協働の場面におけるコミュニケーションを理解できたか。</li> <li>5. プロセスレコードを記入し、自己のコミュニケーションの振り返りができる。</li> <li>6. 情報を共有するための記録の書き方、管理について理解できたか。</li> </ol> <p>○評定の方法 日常の授業態度 25% レポート 75%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	授業中の私語や居眠り、携帯電話の使用は禁止します。授業には積極的に参加し、理解を深めてください。わからないことはそのままにせず、質問をしてください。		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	介護におけるコミュニケーションの基本 利用者のこころにゆとりが生まれるコミュニケーションのための知識	事前学習	テキストの該当箇所を熟読し要点をまとめる。
		事後学習	重要語句をおぼえ、「介護におけるコミュニケーションの基本」についてまとめる。
第2回	コミュニケーション態度に関する基本技術 言語・非言語・準言語コミュニケーションの基本 利用者の思いを引き出すコミュニケーション	事前学習	テキストの該当箇所を熟読し要点をまとめる。
		事後学習	重要語句をおぼえ、「コミュニケーション態度に関する基本技術」についてまとめる。
第3回	目的別のコミュニケーション技術	事前学習	テキストの該当箇所を熟読し要点をまとめる。
		事後学習	重要語句をおぼえ、「目的別のコミュニケーション技術」についてまとめる。
第4回	集団におけるコミュニケーション	事前学習	テキストの該当箇所を熟読し要点をまとめる。
		事後学習	重要語句をおぼえ、「集団におけるコミュニケーション」についてまとめる。【レポート1】
第5回	コミュニケーション障害への対応の基本 視覚障害のある人への支援	事前学習	テキストの該当箇所を読み、納得と同意の概要をつかんでおく
		事後学習	重要語句をおぼえ、「コミュニケーション障害への対応の基本と視覚障害のある人への支援」についてまとめる。
第6回	聴覚障害のある人への支援	事前学習	テキストの該当箇所を熟読し要点をまとめ

	構音障害のある人への支援		る。
		事後学習	重要語句をおぼえ、「聴覚障害のある人への支援と構音障害のある人への支援」についてまとめる。
第7回	失語症の人への支援 認知症の人への支援	事前学習	テキストの該当箇所を熟読し要点をまとめる。
		事後学習	重要語句をおぼえ、「失語症の人への支援と認知症の人への支援」についてまとめる。
第8回	うつ・抑うつ状態の人への支援 統合失調症の人への支援	事前学習	テキストの該当箇所を熟読し要点をまとめる。
		事後学習	重要語句をおぼえ、「うつ・抑うつ状態の人への支援と統合失調症の人への支援」についてまとめる。
第9回	知的障害のある人への支援 発達障害のある人への支援	事前学習	テキストの該当箇所を熟読し要点をまとめる。
		事後学習	重要語句をおぼえ、「知的障害のある人への支援と発達障害のある人への支援」についてまとめる。
第10回	高次脳機能障害のある人への支援 重症心身障害のある人への支援	事前学習	テキストの該当箇所を熟読し要点をまとめる。
		事後学習	重要語句をおぼえ、「高次脳機能障害のある人への支援と重症心身障害のある人への支援」についてまとめる。【レポート2】
第11回	家族とのコミュニケーション 家族の思いを引き出すコミュニケーション	事前学習	テキストの該当箇所を熟読し要点をまとめる。
		事後学習	重要語句をおぼえ、「コミュニケーション障害のある利用者への対応」についてまとめる。
第12回	チームのコミュニケーション 他職種との連携・協働の場面におけるコミュニケーションの理解と実践 報告・連絡・相談の技術	事前学習	テキストの該当箇所を熟読し要点をまとめる。
		事後学習	重要語句をおぼえ、「チームのコミュニケーション」についてまとめる。
第13回	記録の技術 プロセスレコード	事前学習	テキストの該当箇所を熟読し要点をまとめる。
		事後学習	重要語句をおぼえ、「記録の技術とプロセスレコード」についてまとめる。
第14回	会議・議事進行・説明の技術	事前学習	テキストの該当箇所を熟読し要点をまとめる。
		事後学習	重要語句をおぼえ、「会議・議事進行・説明の技術」についてまとめる。
第15回	事例検討に関する技術 情報の活用と管理のための技術 まとめ	事前学習	テキストの該当箇所を熟読し要点をまとめる。
		事後学習	重要語句をおぼえ、「事例検討に関する技術と情報の活用と管理のための技術」についてまとめる。【レポート3】
期末試験 ※詳細については講義内で示す			